

使用者の声

「総合殺菌剤 フロンサイド粉剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。

総合殺菌剤
石原 **フロンサイド**[®]
粉剤

【キャベツ】愛知県 西崎さん

コストパフォーマンスを考えたら フロンサイド粉剤一択。 絶対に欠かせない薬剤です。

愛知県豊橋市でキャベツを栽培する西崎さんは、年間を通じて約6.5haの規模で生産を行っています。心掛けていることは、大きくて重さがあり、見た目も良いキャベツ作り。そのために土壌消毒や水やりの回数を増やす工夫をしているそうです。

**根こぶ病菌は常にいるという意識を忘れず、
全面土壌混和でしっかり防除。**

特に、栽培初期の土壌消毒は、根こぶ病の感染を防ぐうえでも大事だといいます。「根こぶ病に感染するとキャベツの生育が阻害され、とても小さいものができたり結球できなくなったりしてしまうので、フロンサイド粉剤などの殺菌剤を使用してしっかりと予防するようにしています」。

フロンサイド粉剤を使い始める以前は他剤を使用していたという西崎さん。「過去に他剤を条間土壌混和処理していたのですが、30aほど根こぶ病の被害に遭いました。その後、フロンサイド粉剤による全面土壌混和処理へと切り替えてからは、根こぶ病は出ていません」と、確かな効果を実感しています。「条間土壌混和処理では畝部分のみの防除にとどまっていたが、全面土壌混和処理にしたことで、畝間を含む圃場全体に薬剤が行き渡るようになったのも良かったと思います。根こぶ病菌は土壌中に必ず潜んでいるものだと思うので、圃場全体に処理できるフロンサイド粉剤での防除は絶対に欠かせない作業の一つです」。さらに、根こぶ病被害に遭ったという近隣の生産者にフロンサイド粉剤をすすめたところ、被害が抑えられたというエピソードも教えてくださいました。



**コスト面での優位性も選ぶ理由の一つ。
資材費と根こぶ病を同時に抑えられる。**

数ある薬剤の中でフロンサイド粉剤を選ぶ理由は、効果だけではありません。「他剤だと使用コストがフロンサイド粉剤の1.3～1.5倍ほどかかってしまうので、フロンサイド粉剤を選んでいます」。圃場の規模が大きくなればなるほど資材費の差は経営に直結します。コスト面での優位性と効果が両立するフロンサイド粉剤は、西崎さんにとって強い味方になっているようです。

育苗から収穫まで半年ほどかかることもあるというキャベツ栽培。「生産者としては、手塩にかけた自分のキャベツが最後まできれいに育ち、きちんと出荷できた時が非常に嬉しいです」。そんな西崎さんの喜びのためにも、フロンサイド粉剤はしっかりと根こぶ病の発生を抑え続けていきます。

※取材時(2026年3月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。